



研究に関する記者発表資料

報道関係者各位

公立大学法人大阪市立大学

「印刷労働者にみられる胆管癌発症の疫学的解明と原因追究」等についての発表

大阪市立大学大学院医学研究科の圓藤吟史教授等のグループは、このほど、厚生労働科学特別研究として、胆管がんの発症状況の解明のための疫学的調査と原因追究についての研究を行います。

＜発表の概要＞

- オフセット校正印刷の事業場で働く、現・元従業員に多発した胆管癌発症についての実態の全貌、原因追究、予防は、社会的な喫緊の課題となっています。それらの課題に取り組むため本学大学院医学研究科の圓藤吟史教授等グループは、厚生労働省ならびに大阪労働局と連携を取りつつ、科学的解明にあたります。
- 医学部附属病院の久保病院教授等のグループは、日本肝胆膵外科学会の胆道プロジェクト研究として「若年者胆道癌の発症要因に関する研究」を行います。これは、印刷会社のみならず、各種有機溶剤などの化学物質を含む環境要因が若年者胆道癌発症の要因となっている可能性が考えられることから、その実態と発症要因に関する研究に他大学とも連携して研究を行うものです。
- 大阪市立大学医学部附属病院は2012年8月7日(火)より胆管癌の特別外来を開設いたします。
<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/et/tankangan01.shtml>

＜記者レクの概要＞

日時 平成24年8月3日(金) 14時～15時

場所 大阪市立大学医学部学舎 18階会議室

(大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL:06-6645-2711)

発表者 圓藤 吟史 (大阪市立大学大学院医学研究科 産業医学分野 教授)

久保 正二 (大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵外科 病院教授)

厚生労働省のHPより (胆管がん発症に関する各種取り組み状況について)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002g5qq.html>

【研究に関する問い合わせ先】

大阪市立大学大学院医学研究科 教授 圓藤吟史

TEL:06-6645-3751

大阪市立大学医学部附属病院 病院教授 久保正二

TEL:06-6646-3841

【報道に対する問い合わせ先】

大阪市立大学広報室 担当 小澤、勝井

TEL:06-6605-3570



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

研究に関する記者レクチャー

印刷労働者にみられる胆管癌発症の疫学的解明と原因追究

2012年8月3日

大阪市立大学医学部学舎 18階会議室

大阪市立大学大学院
医学研究科産業医学分野
教授 圓藤 吟史

胆管癌発症の危険因子

- 膵・胆管合流異常
- 原発性硬化性胆管炎
- 胆石症(肝内結石症)
- 寄生虫
- 肝炎ウイルス(C型肝炎、B型肝炎)
- 脂肪性肝炎(NASH)

疫学的調査について(その1)

疫学的調査としては、次のようなものが代表的

1. 症例対照研究

特定の病気に罹患した人のグループ(症例群)と、その病気に罹患していない人のグループ(対照群)の両グループの曝露歴(業務歴等)をさかのぼって調査し、曝露と疾患の発症との関わりを調べる。

2. コホート研究

対象集団(コホート)を設定し、曝露状態を調査し、その後の時間経過とともに、疾患の発症や死因等を調査し、曝露と疾患発症の関係を調査する研究である。

これには、前向きに追跡調査する方法と、過去にさかのぼって調査する方法とがある。

疫学的調査について(その2)

疫学的調査で、どのようなことがわかるか。

(例) 1850年におきたロンドンでのコレラの流行事例。

麻酔科医のジョン・スノウは、コレラ患者の居住地を地図上にプロットし、患者が特定の井戸の周囲に発生し、井戸の閉鎖により患者を減少させた。同時に、ロンドンの2つの水道会社の水道供給人口と患者発生頻度を比較し、特定の供給会社の水が危険であることを指摘した。

疫学的調査について(つづき)

ここで重要なのは、コッホによりコレラ菌が発見されたのはこの事案の約30年後である。

スノウは、「コレラはコレラ菌によっておこる。」ことを知らないにもかかわらず、コレラの**危険因子**(特定の井戸や水道会社の水)を正しく指摘し、**予防**(井戸の封鎖)を行った。



- **特定の職業につくこと(曝露)と疾患の発症の因果関係は証明できる。**
- **予防対策は可能である。**

印刷労働者にみられる胆管癌発症の疫学的解明と原因追究

1. 疫学手法により職業性曝露と胆管癌発症の関係を明らかにする。
2. 早期発見のための検査体制を確立する。

印刷労働者にみられる胆管癌発症の疫学的解明と原因追究

1. 現・元従業員を対象とし、疫学的手法により、曝露と胆管癌発症の関係を明確にする。
 - ① 正確な発症数等の把握・適切な曝露の定義
 - 標準化死亡率
 - 標準化罹患比
 - ② 因果関係の究明
 - 曝露と胆管癌発症の関係
 - 曝露と肝機能障害の関係

2. 現・元従業員を対象とし、現在における健康状態の把握を行う。
 - ①健康状態の把握。
 - ②曝露と今後の発症の早期発見。

就労期における胆管癌症例について 職業との関係

就労期における胆管癌症例について職業との関係を網羅的に検討する。

日本肝胆膵外科学会がすすめている研究と連携する。

早期発見のための検査体制を確立

大阪市立大学医学部附属病院は、胆管がんの早期発見・早期治療を目的とした胆管がん特別外来を開設する。詳細は、このあとに示す。



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

「若年者胆道癌の発症要因に関する研究」 「胆管がん特別外来の開設について」

大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵外科

久保 正二

若年者胆道癌の発症要因に関する研究

日本肝胆膵外科学会

胆道プロジェクト研究

「胆04研究」若年者胆道癌の発症要因に関する研究

理事長

宮崎 勝

プロジェクト委員会・担当理事

山上裕機

胆道研究班・委員長

宮川秀一

胆04研究担当

久保正二、海野倫明

最近、印刷会社における若年者胆道癌の多発事例が報告されている。このような事例をみると、印刷会社のみでなく、各種有機溶剤などの化学物質を含む環境要因が若年者胆道癌の要因となっている可能性が考えられる。そこで、本プロジェクトにおいては、若年者胆道癌の実態と発症要因に関する研究を行う。

若年者胆道癌の発症要因に関する研究

(1) 予備調査

1) 対象患者

- ・過去15年間(1997年1月～2011年12月31日)の
50歳未満胆道癌症例

(切除・非切除を含む:ただし組織診・細胞診・病理解剖など
病理学的確定診断行われた症例)

- ・胆道癌とは、肝内胆管癌、肝外胆管癌、胆嚢癌、乳頭部癌

2) 対象医療機関

肝胆膵外科学会高度技能医修練施設 211施設

3) 調査項目

対象期間における胆道癌患者数、このうち50歳未満の患者数

若年者胆道癌の発症要因に関する研究

(2) 本調査

1) 対象期間の胆道癌患者数、性別、年齢

2) 50歳未満胆道癌症例の詳細

環境因子・臨床検査値・画像所見・病理所見・
治療方法・治療成績

「胆管がん特別外来の開設について」

胆管がん特別外来の開設について

大阪市立大学医学部附属病院では
2012年8月7日(火)より胆管がん特別外来を開設します

胆管がん特別外来の開設について

特別外来での診療の対象となる人

- ◆ 印刷業などで有機溶剤を大量に取り扱う職場・工場等での勤務歴・作業歴があること。

かつ

- ◆ かかりつけ医への受診や健康診断などで、肝機能障害や胆管がんの可能性があるとされる人。

胆管がん特別外来の開設について

特別外来で診療を受けるために必要な手続き

1. お近くのかかりつけ医や産業医、健診センター等の医師の診察を受け、胆管がん専門外来の受診について相談していただき、紹介状等を作成してもらってください。
2. かかりつけ医、産業医、検診センター等の医師を通して、当病院の地域医療連絡室に連絡を取り「胆管がん特別外来」の診察予約を取ってもらってください。
3. 予約日時に予約票、紹介状、健康保険証等を持参の上、ご来院ください。

胆管がん特別外来の開設について

開設日および診療日

診療日は週2日（火・金）になります。

（平成24年8月7日（火）開設—完全予約制）

* 検査の内容により複数回の来院をお願いすることがあることをご了承ください。

本日の会見に対する問い合わせ

大阪市立大学大学院医学研究科産業医学分野
教授 圓藤 吟史

endog@med.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学医学部附属病院 肝胆膵外科
病院教授 久保 正二